

### 3 安全を確保する

公園樹剪定の際の安全を確保するためには、「労働安全衛生法」等関係法規の定めるところにより常に安全管理に必要な処置を講じ、労働災害の発生の防止に努めることはもちろんであるが、剪定作業中などの倒木等による事故を防止するため、公園樹の健康状態を把握した上で剪定作業を行うように心がけることが重要である。

以下、道路緑化編の4-1～4-2（P12～P15）に掲げた基本を守る。

### 4 剪定の基本を守る

剪定の基本を忠実に守り、カットする位置、向き、角度等を正しく剪定することによって、枯れ下がる枝や瘤の発生を防ぎ、見苦しい樹形を回避することができる。

剪定の基本を守ることは、柔らかな樹形を生み出し、樹木の美しさにつながる。

以下、道路緑化編の5-1～5-4（P16～P24）に掲げた基本を守る。

## 5 良好な維持管理に向けて

剪定に当たっては、剪定要望者及び地元町内会等と事前協議を行い、理解を得て剪定を行う必要がある。

#### (1) 樹木の剪定

公園樹木の剪定に当たっては、要望者及び地元町内会等と十分に協議を行い、できる限り理解を得て剪定を行う。

剪定の要望が複数本ある場合には、地元と立会し協議を行いながらモデル剪定を実施し、理解を得ながら剪定を実施する。

また、大きく切り詰めたり、倒木を未然に防ぐ伐採を行う必要がある場合には、必要に応じて、事前に張り紙等で利用者に対して周知し、理解を求める。

#### (2) 樹木の移植

苦情や要望が常時化している樹木については、移植の可能性も検討するが、現在の公園敷地内で移植を考えることが困難な場合は、公園再生など再整備で利用形態を変更する際に、ワークショップにおいて移植先についても地元でよく話し合ってもらい、検討事項として取り組む。

#### (3) 樹木の植栽

新たに公園内に樹木を植える場合には、地元協議を行い、将来の成長を考え、民地に隣接した場所では境界から離れた場所に植栽する。また、大きく成長する樹木はなるべく植えないことにする。

《参考文献等》

大型街路樹の維持管理手法に関する共同研究報告書

・・・建設省土木研究所、環境部緑化生態研究室、社団法人日本造園建設業協会  
街路樹剪定士必携

・・・社団法人日本造園建設業協会

福岡市公園・街路樹木等維持管理ハンドブック（平成8年2月）

・・・財団法人福岡市公園都市整備公社（現 福岡市森と緑のまちづくり協会）

街路樹の緑化工～環境デザインと管理技術～

・・・ソフトサイエンス社

街路樹剪定ハンドブック

・・・社団法人日本造園建設業協会